

## 2. 滋賀県で発生する地震の特徴

滋賀県内及びその周辺では、主に滋賀県の西部、北東部、及び京都府南部、大阪府北部の陸域の浅い場所（深さ約 0～20km）で発生する地震（陸域の浅い地震）が多く、平成 30 年（2018 年）6 月の大阪府北部の地震（M6.1、県内最大震度 5 弱）、最近では、令和 3 年（2021 年）8 月の滋賀県北部の地震（M4.6、M4.4、県内最大震度 3）も陸域の浅い地震です。（図 1、図 2）。また、主に滋賀県北東部で、沈み込むフィリピン海プレート内部（深さ約 30～50 km）で地震が発生しています。

滋賀県内及びその周辺では、2000 年以降、M4 以上の地震がしばしば発生しており、この期間内で、最も規模の大きな地震は、平成 30 年（2018 年）6 月の大阪府北部の地震（M6.1）です（図 3）。

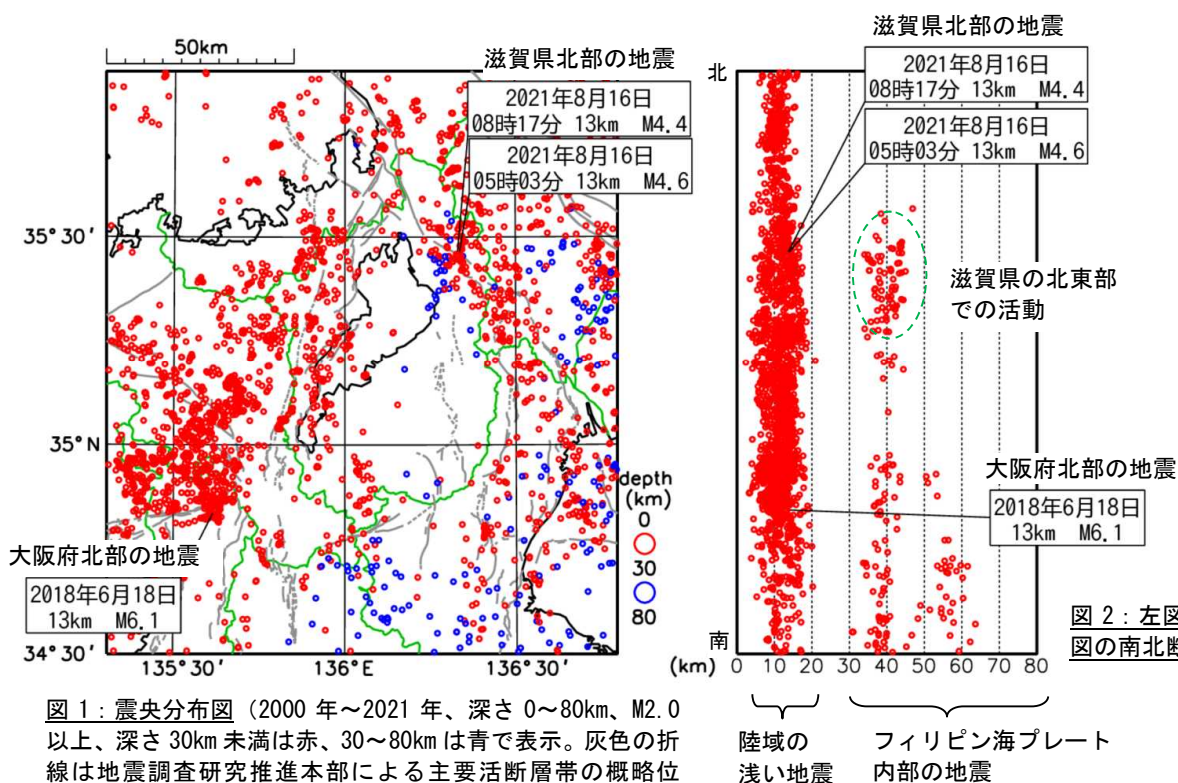


図 1：震央分布図（2000 年～2021 年、深さ 0～80km、M2.0 以上、深さ 30km 未満は赤、30～80km は青で表示。灰色の折線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯の概略位置。）

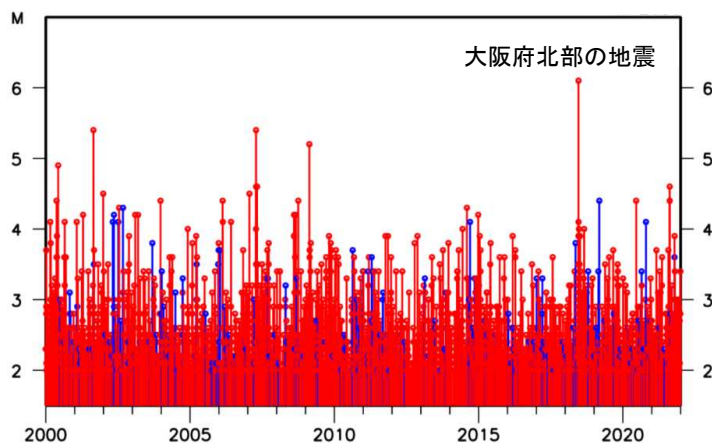


図 3：震央分布図内の地震活動経過図（規模別）